

《沼田ならではの新たな教育スタイル》沼田町一貫・連携教育 小中合同運動会 ～一貫・連携の息吹に賞賛と感動!!～



▲ 200 余名の児童生徒が沼小グラウンドに集う開会式

5月30日（土）9時から、これまでの一貫・連携合教育を象徴する取り組みとして、小中合同運動会が開催されました。これまでの子どもたちの努力と沼田っ子の成長を願う関係者の思いが天に通じ、当日は好天に恵まれ絶好の運動会日和となりました。開会式では中学校生徒会長はるの久保羽有さんと小学校児童会長の石川瑠菜さんが、「小中、力を合わせて頑張ります。応援をよろしくお願いします。」と声高らかに開会宣言を行いました。

続いて両校を代表して小川勉中学校長、松尾小学校 PTA 会長が、子ども達への激励と観客の皆さんに連携と感謝の熱い思いを伝えました。優勝旗返還後、岩倉那月さん（小6）と中西健斗さん（中3）による小中連携とチーム団結の決意を込めた選手宣誓が沼田小学校グラウンドに響き渡りました。こうして、沼田町教育史の新たな扉が開かれました。

その後、両校グラウンドに分かれ、元気いっぱいそれぞれの競技が展開されました。昼休みを前後して小学1年生から中学3年生までの全員がバトンをつなぐ「小中全員リレー」と、小学3年生以上と中学生が組になってデカパンに入って走る「デカパンリレー」が行われました。中学生は良きリーダーとして小学生を気遣い励まし、小学生は中学生の逞しさや優しさに憧れを抱く一貫・連携スタイルの息吹が随所に感じられ、会場は賞賛と感動の歓声に包まれました。初めての合同運動会、一貫・連携教育の趣旨を踏まえ、保護者アンケートを行い、次年度への飛躍に生かしていきます。今後の更なる充実に向け温かいご声援をお願いいたします。



▲中学生と小学生が助け合って走った「デカパンリレー」

沼田町化石館 Numata Fossil Museum



沼田町化石館は幌新地区の展示施設（化石体験館）以外にも施設があり、「レプリカ工房」と呼ばれています。厚生クリニックの向かいにあるレプリカ工房は、表にはあまり出てこない「博物館のうらがわ」で、展示物を作る等、様々な作業をしています。

現在、レプリカ工房では恵比島から見つかったクジラ化石を、石から取り出す作業をしています。タガネとハンマーで石を切り取っていく非常に地味な作業ですが、そこから新たな発見が生まれています。

博物館のうらがわを、そして化石が取り出されていく瞬間を見てくださいませんか？ 興味のある方はぜひ見学にいらしてください。歓迎いたします！

【問い合わせ先：0164-35-1034 学芸員 田中 嘉寛 】



▲骨の化石見えますか？



▲スポンジ状なので、クジラの骨だと思われます。